

## 「アレルギーの臨床」に寄せる — 855 — 中性脂肪の生理的燃焼

【矢追インパクト療法】

東京渋谷 山脇診療所

山脇 昂

矢追インパクト療法（YIT）は何かを犠牲にして、何かを得る治療法ではありません。東洋医学的傾向或いはホメオパシーの性格があると思います。一般的に薬剤にしても手術的治療法にしても、副作用或いは何かを犠牲にする傾向は存在します。YITは小児のアトピー性皮膚炎・喘息・アレルギー性鼻炎に主として使用されてきました。例えば小児に限らず大人のアトピー性皮膚炎の治療に使用し徐々に軽快して来る。これは何故か？ この療法をやると、遣っている最中から、体が0～1℃温かくなって来ます。故矢追博美先生は「子供は注射後気分が良くなり、すぐ寝てしまう。色のついた夢を見ているようだ」と表現していました。基礎体温が上がるのです。この事が一番大切な現象です。

体が温かくなるには、筋肉中の中性脂肪が注射前より、より多く燃焼しなければなりません。インシュリンを注射したのではないから糖をより多く燃焼させたのではない。又インシュリンを注射しても今以上には体は温かくなれない。せいぜい低血糖症状が起る程度です。YITは筋肉中の中性脂肪を燃焼させる最も効果的な刺激となります。運動の代わりになるのです。全く運動など不可能な寝たきりの人にも運動の代替になるのです。従って寝たきりの人も良く食べるようになり、次第に元気になります。逆に食の細い中性脂肪の少ない人にはYITをやると次の日疲れて、昼食の準備はしたが疲れて食べる気ない。どうすればよいか？ などの電話が来ます。筋肉中の中性脂肪が燃焼し基礎体温が上昇すると、色々な体の変化が起こります。HSP（Heat Shock Protein）が生じ又増加します。体中のあらゆる組織を修復して行く分子シャペロン（召使）となり、これが抗酸化作用をします。アトピー性皮膚炎も徐々に改善してきますが、普通と考えられている皮膚ももっとキメ細かく色白になります。皮膚の一部と考えられている爪や髪の毛の伸びが早くなります。脊柱起立筋を燃焼させ動かせますから、姿勢も矯正します。シェイプアップしますから、直前・直後で身長が変わります。少し円背の人には伸びますから、横

から写真を撮って比較すると最も解かり易いです。円背が治ると大顔が小顔になります。緊張して伸びきっている人はリラックスしますから少し身長が減ります。もっと自然な美人になりたい女性には、少々の沁みる様に広がる痛みのこの皮内注射に耐えることが可能ならば最適です。本当に若返ります。テレビで宣伝している色々な化粧品その他の方法にはこのような顕著な効果は全くないと思います。こう言う風にアトピー性皮膚炎に特化した治療法ではありません。自家感作性皮膚炎・脂漏性皮膚炎・帯状疱疹及びその後神経痛その他の皮膚炎・湿疹等に対しても良く効きます。

糖尿病の患者さんに遣っていると、まず中性脂肪から減り始め、瞬間風速の血糖が次に減少し始め、HbA1cが3か月経た頃に減少を始めています。血中中性脂肪の減少は、薬剤のように尿・便に横流しして減少させるのではなく、確実に体内で燃焼させて生理的に減少させます。中性脂肪の生理的燃焼こそが体を温かくし、抗酸化作用をし、色々なアレルギー性疾患を治し、筋肉を丈夫にしますから、肩こりを治し、腰痛を治し、歪んだ姿勢を矯正し、体を若い方へ若い方へ導くのです。この療法は焼灼療法です。中性脂肪をどんどん燃焼させます。辛い物を食べる・入浴する・日光浴・アルコールを飲む・運動する・レントゲン照射治療・液体窒素で焼く・冷却療法・薬を飲む等ほとんどが焼灼療法です。インシュリン注射は補充療法です。刺激が皮膚から沁みる様に広がって行くこの療法は神経軸索反射を利用し、最も簡敏な、最も効果的な中性脂肪の燃焼、抗酸化作用を発揮します。脳も皮膚と同じ外胚葉ですから脳にも刺激が伝達し、脳の中で抗酸化作用をし、認知症等の役に立つと思いますが、まだまだ症例を重ねなければなりません。でも頭頂部（百会）に打つと刺激が頭蓋骨を通し、脳を刺激しているのが実感できます。後頭部に打つと有線野あたりを刺激しているのでしょうか。眼がはっきりし眼裂が大きくなり眼力（めぢから）がつくのが解かります。中性脂肪の生理的燃焼は、薬を飲んで尿・便に横流しする方法とは違い、生きるための栄養素とかビタミンとか微量元素とかあらゆる必要成分を総動員して消費し、体組織のあらゆる部分を劣化させず、現状維持すること更に元に戻す方向へ働く原動力となるエネルギーなのですが、その仕組みを研究している研究者は世界中におらないと思います。私たちは臨床的にその経過観察をし、予測しています。つまりEBMではなくFBM（Fact Based Medicine）をやっています。